



学校だより

夢中がいっぱい左近山の子

～つながる学び（知）・つながる仲間（徳/体）・つながる地域・未来(公/開)～

令和5年11月29日

Sakonama 横浜市立左近山小学校

12月号

## 「左近山小学校 祝10周年」

校長 徳留 勇

先日、左近山連合自治会会長 林 重克 様、西部学校教育事務所 高橋 壘 様をはじめ、日頃より本校の教育活動を支えてくださっている皆様に多数ご臨席いただき、左近山小学校10周年記念式典を無事に開催することができました。地域の皆様や旧職員の皆様とお話をさせていただき、左近山小学校は本当にたくさんの熱い思いに支えられていることを改めて感じる一日となりました。

去年の夏休み明け、「10周年をお祝いしよう」と朝会で呼びかけてから、子どもたちは、自分たちの大切な左近山小学校のために様々なことを計画し、実行してきました。

昨年度の卒業生は、ペットボトルのふたを集めて『祝10周年』の飾りを作ったり、記念ビデオを作ったり、給食のメニューを考えたりするなど10周年のお祝いムードを盛り上げました。

今年度に入り、本格的に実行委員会が立ち上がると、ウサギの「きなこ」と「ココア」をモチーフにしたかわいいマスコット、願いのこもった校歌の替え歌、素敵な横断幕のデザインを考えるなど、全校の児童のお祝いの気持ちが更に盛り上がるよう主体的に活動をしてきました。

おかげさまで、子どもたちの式典も気持ちがこもった温かい会になりました。超特大ケーキを前にして歌ったバースデイソング、作曲者である三島さんと歌った大好きな校歌、未来への希望とともに大空に舞い上がったバルーンリリースなど、子どもたちにとって、忘れられない思い出になったと思います。きっと大人になり、小学校時代の思い出を語るとき、「自分たちは左近山小の10周年をお祝いたよね。」「大きなケーキを作ったり、替え歌を作ったりしたよね。」「ウサギのきなこココアはかわいかったよね。」などと、ふるさと左近山への親しみと共に、懐かしく思い出すのではないのでしょうか。

創立10周年、左近山小学校は旭区内では最も若い小学校です。しかしながら、校長室にある左近山第一・第二・小高小学校の資料や歴代校長先生の写真を見ると、約50年にわたる3校の歴史の重みとたくさんの地域の皆さんの思いを改めて感じさせられます。

本校の学校教育目標『夢中がいっぱい 左近山の子～つながる学び つながる仲間 つながる地域 未来～』に向け、仲間との絆や人との出会いを大切に、力強く、笑顔あふれる左近山小学校になれるよう、これからも子どもたちと共に全力で新たな歴史を刻んでいきます。

引き続き、地域・保護者の皆様にも、子どもたちを支え、慈しんでいただきますようお願いいたします。

### 【全国に誇れる本校のPTA】

いつも子どもたちのことを第一に考え、和気あいあいと、笑顔で学校を支えてくださっている左近山小学校PTAの皆さんが「日本PTA会長賞」を受賞しました。安全・安心な街づくりへの貢献、読みやすさ・親しみやすさ・分かりやすさにこだわったお便りの工夫、PTA活動を見直し、誰もが無理なく参加しやすい組織改革など、様々な活動が評価されました。

「みんなで少しずつ、できるときに、できることを」をモットーに、保護者の皆さんの力を少しずつ集めながら子どもたちと学校を支えてくださる左近山小学校のPTAの存在は本校の大きな強みです。今回の受賞で左近山小学校のPTAは全国に誇れるPTAとなりました。これからもよろしく願いいたします。

【留守番電話設定】平日17時15分から翌朝7時45分までは留守番電話を設定しています。